

各 位

上場会社名	グラウンド・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社
代表者	代表取締役 佐藤明彦
(コード番号)	8783)
問合せ先責任者	取締役 平野公久
(TEL)	03-5532-1031)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	75	△30	△30	△30	△1,994.02
今回発表予想(B)	25	△63	△78	△79	△5,628.24
増減額(B-A)	△50	△33	△48	△49	
増減率(%)	△66.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	20	△71	△70	△68	△4,567.05

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	190	5	5	5	332.34
今回発表予想(B)	145	△22	△37	△38	△2,525.76
増減額(B-A)	△45	△27	△42	△43	
増減率(%)	△23.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	78	△100	△98	△93	△6,222.64

修正の理由

当社の主力業務であるストラクチャリング業務については、アセット・マネージャーのアウトソースニーズ取り込みや、資産家の資金をデット性の投資資金として取り込み、不動産へ共同投資するスキームの活用により、案件獲得を図りましたが、受注環境の厳しさにより、見込み通りの案件獲得には至りませんでした。また、アドバイザー業務収益については、企業の資金調達に関する助言業務につき積極的な営業活動を行い、複数のマニデートを獲得したものの、上半期においてクロージングまでに至る案件は少数に留まりました。これらの理由により、営業収益につきましては、上半期の予想を25百万に修正いたします。

利益面につきましては、固定費削減の取り組みを前期より継続しておりますが、上述のとおり営業収益の減少により、営業利益、経常利益、四半期純利益の予想をそれぞれ修正いたします。

また、下半期につきましては、既にマニデートを獲得している企業の資金調達に関する助言業務や、不動産仲介業務等のアドバイザー業務による収益を見込んでおりますが、ストラクチャリング業務の事業環境は引き続き厳しいものと予想され、これらを総合的に勘案し、通期業績も修正いたします。

今後、当社といたしましては、新規事業として掲げた「金融モール」の拡充を実現していくことで、営業収益の回復を図り黒字化を達成することが最重要の課題であると認識しております。このため、ストラクチャリング業務においては、引き続きアセット・マネージャーのアウトソースニーズ取り込み等により案件獲得を図るとともに、アドバイザー業務においては、企業の資金調達に関する助言業務、不動産仲介業務、中銀法律事務所と協業して行う日系企業の中国事業に対する助言業務を中心に事業領域を拡充して参ります。

また、配当金につきましては、従来予想を修正せず、期末配当金1株当たり500円を予定しております。

(注)上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。